

【基本方針】

医療と福祉の連携をとり、介護員、相談員、ケアマネジャー、医師、看護師、栄養士、歯科衛生士それぞれの専門性、独自性、応用力を活かし、一貫したケアを行い入居者様が安全かつ安楽な生活を送ることが出来るように努める

【年間目標】

- ① 異常の早期発見に努め、早期治療と看護による施設内での体調改善を図る
- ② 皮膚トラブルの予防に努める。発生時は適切な処置を実施し早期治癒を目指す
- ③ 感染症の予防と拡大防止
- ④ 看取り介護の質の向上
- ⑤ 接遇・礼儀の徹底に努める
- ⑥ 経費削減に努める

【実践報告】

- (1) 異常の早期発見に努め、早期治療と看護による施設内での体調改善を図る
 - ・ロング入居者様は週 1 回のバイタルサイン測定（以下 VS 測定）と入浴時の検温を実施、SS 利用者様は毎日 VS 測定している。退院後や食事、排泄、精神状態に変調があるときは適宜 VS 測定を行い、異常の早期発見、対応に取り組んだ。
- (2) 皮膚トラブルの予防と改善に努める
 - ・排便間隔、入浴回数等の関係から褥瘡の再発を繰り返している。また終末期において重度の褥瘡治癒を目指し、介護員と連携を取りケアを実施する。
- (3) 感染症の予防と拡大防止
 - ・今年度は家族と職員のインフルエンザの発症は数名あったが入居者様は SS 利用者 1 名のみであった。職員の徹底した感染予防行動と各種関係機関との情報共有、密な連携の結果である。感染拡大時の対応を忘れず、常に危機管理意識を持つ。予防投与に頼らない感染予防を徹底したい。
- (4) 看取り介護の質の向上
 - ・30 年度は 1 名の急死された方を除き、7 名の入居者様がふるさとで最期を迎えられた。体調不良や高齢のため付き添えないご家族が多く、職員が最期を看取る機会が多かった。
- (5) 接遇・礼儀の徹底に努める
 - ・職員間同志の言葉遣いの改善はみられない。お互い注意し合える職場環境を目指してゆく。
- (6) 経費削減に努める
 - ・処置に使う物品の個人購入、医療や衛生材料の変更にて経費削減が出来ている。